

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

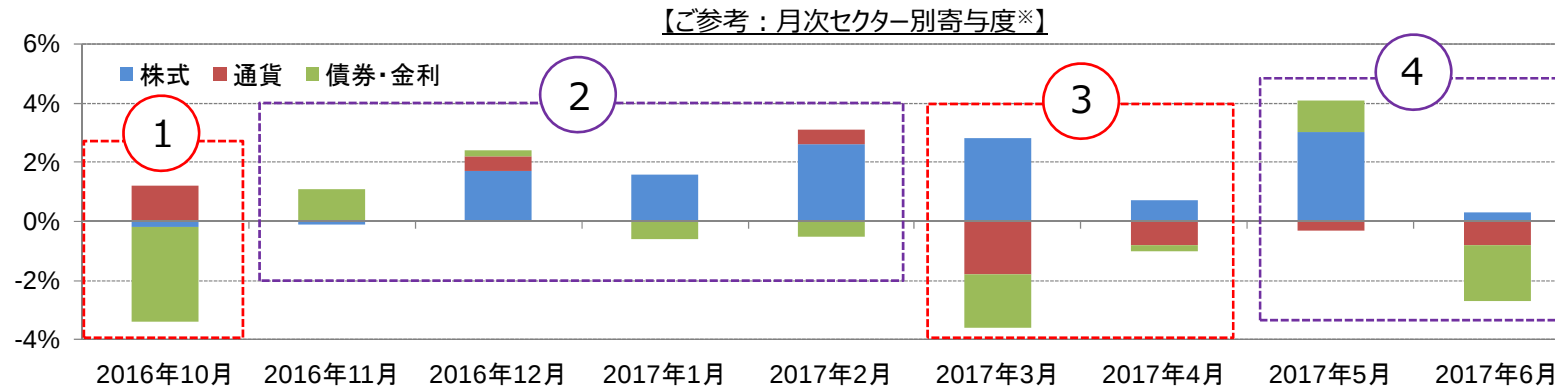
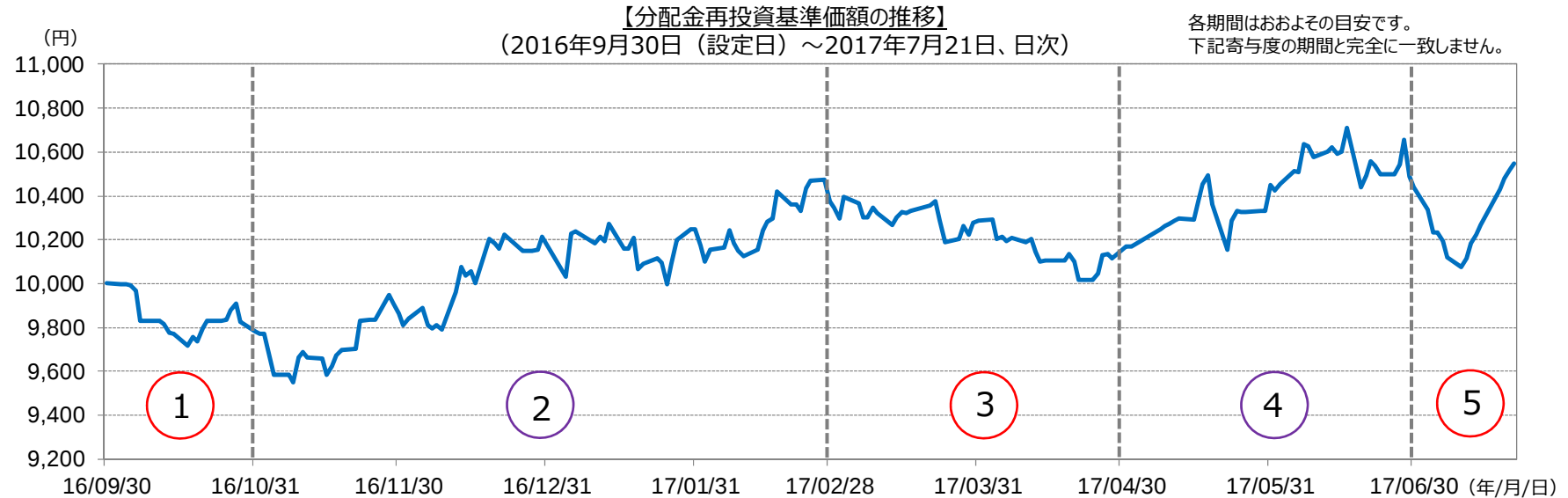
追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

～設定来の運用状況について～

情報提供資料

2017.07

ファンドの強みと弱みについて各局面に応じて説明します。



※ 投資対象ファンド「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」における月次セクター別寄与度（現地月末基準）です。当ファンドはルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ－日本円クラス（ヘッジ付）」に投資を行います。

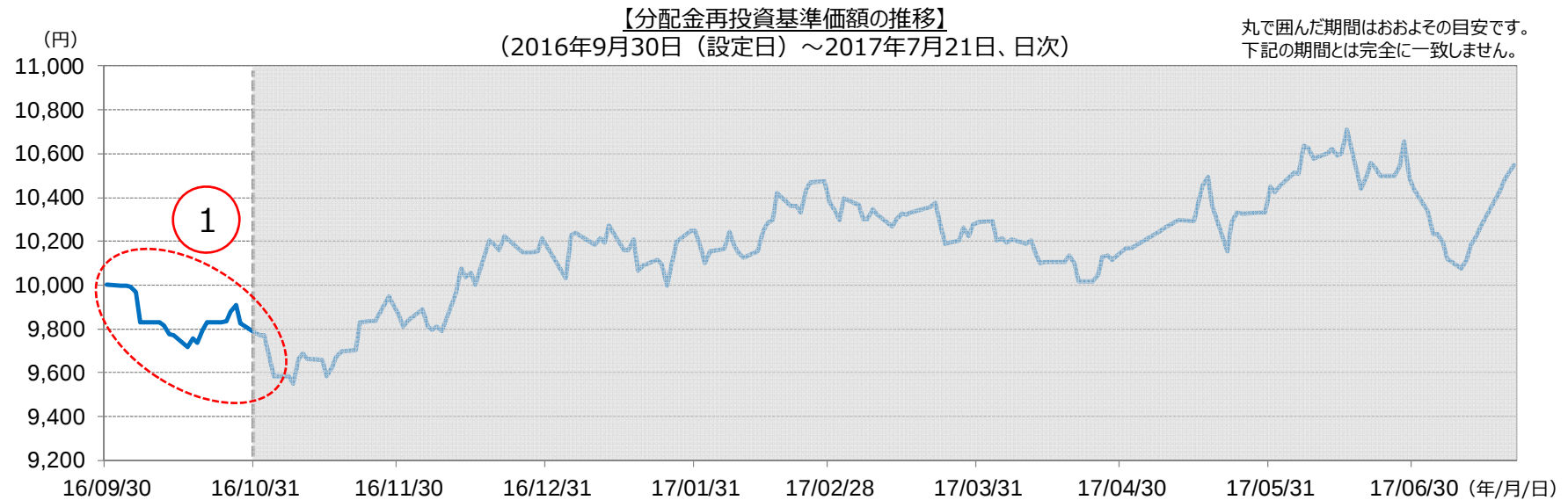
1 → 2ページへ 2 → 3ページへ 3 → 4ページへ 4 → 5ページへ 5 → 6ページへ

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

～設定来の運用状況について～

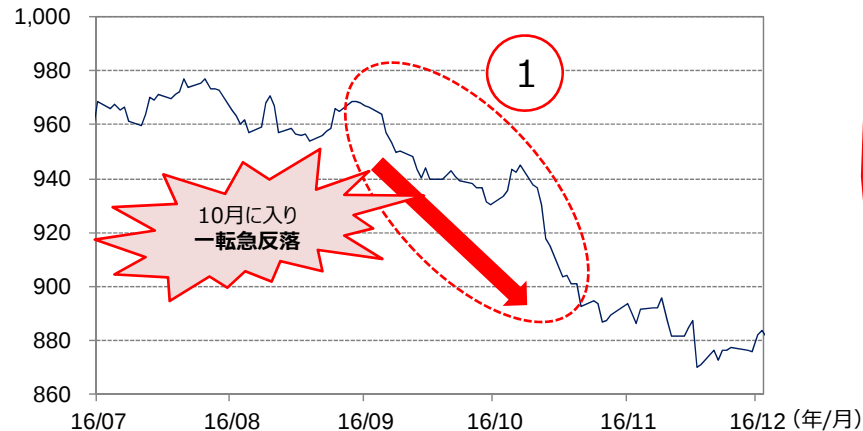
情報提供資料



急激な方向転換

- ◆ 2016年11月の米国大統領選挙を控え、市場のリスク回避姿勢の強まりとともに、それまで上昇していた世界の主要債券市場は横ばいに転じました。
- ◆ 10月にECB（欧州中央銀行）が量的緩和を縮小し始めるとの見方が強まり、欧州を中心に主要各国の国債利回りが上昇（債券価格は下落）しました。

【ご参考：最も影響を受けた市場の1つとして掲載】
世界債券（シティ世界国債インデックス（米ドルベース））の推移
(期間：2016年7月29日～2016年12月30日、日次)



出所：ブルームバーグ、シティグループ・インデックスLLCのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成



2016年9月頃まで、世界的に債券市場が安定して推移する中、欧州主要国の国債を買建てていたんだ。

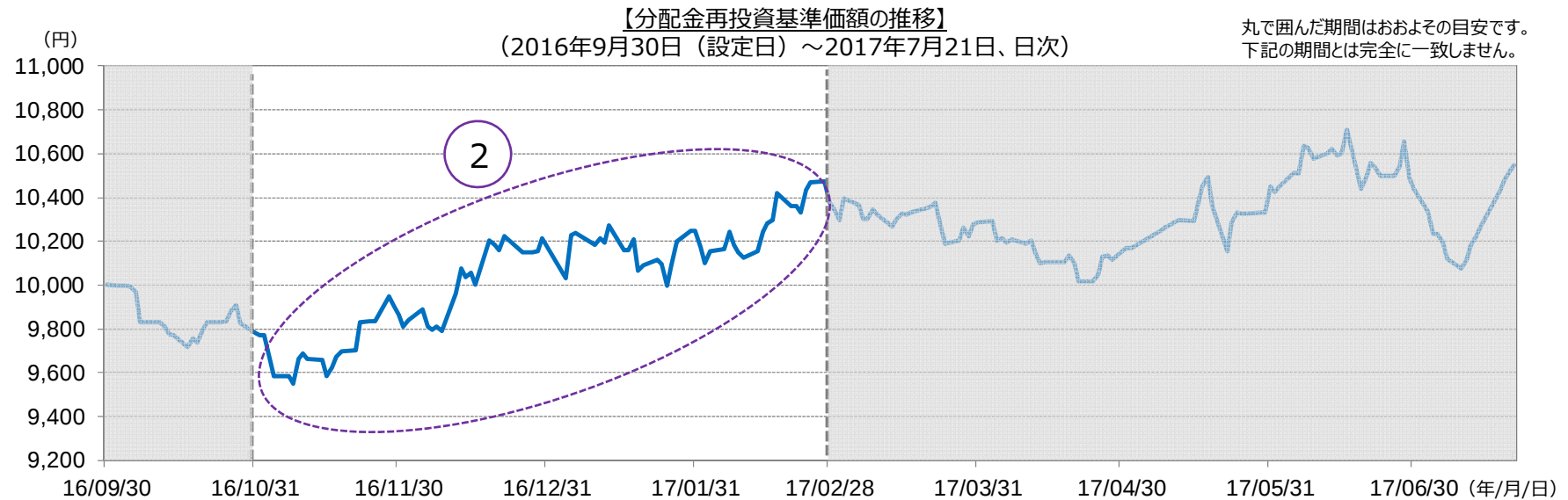
ところが、世界的に金利が急に上昇（債券価格が急落）したので、買建てていた債券で損失を計上してしまったんだ。

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

～設定来の運用状況について～

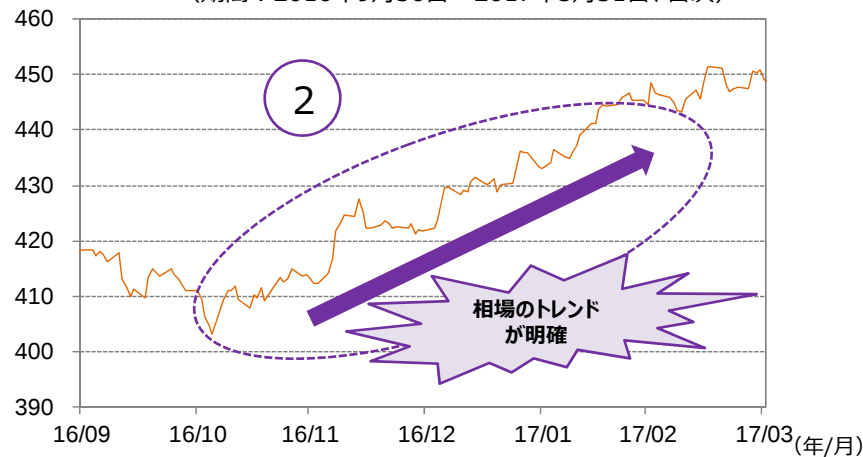
情報提供資料



リスク選好度が高まる

- ◆ 米国大統領選挙後の2016年11月～2017年2月にかけて、トランプ新政権が打ち出す政策に対する期待が高まり、世界主要国の株式が上昇しました。
- ◆ また12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利上げが決定され、米国金利が上昇（債券価格は下落）しました。

【ご参考：最も影響を受けた市場の1つとして掲載】
世界株式（MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース））の推移
(期間：2016年9月30日～2017年3月31日、日次)



出所：ブルームバーグ、MSCIのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成



2016年11月～2017年2月頃は、相場をうまく捉えることができたんだ。

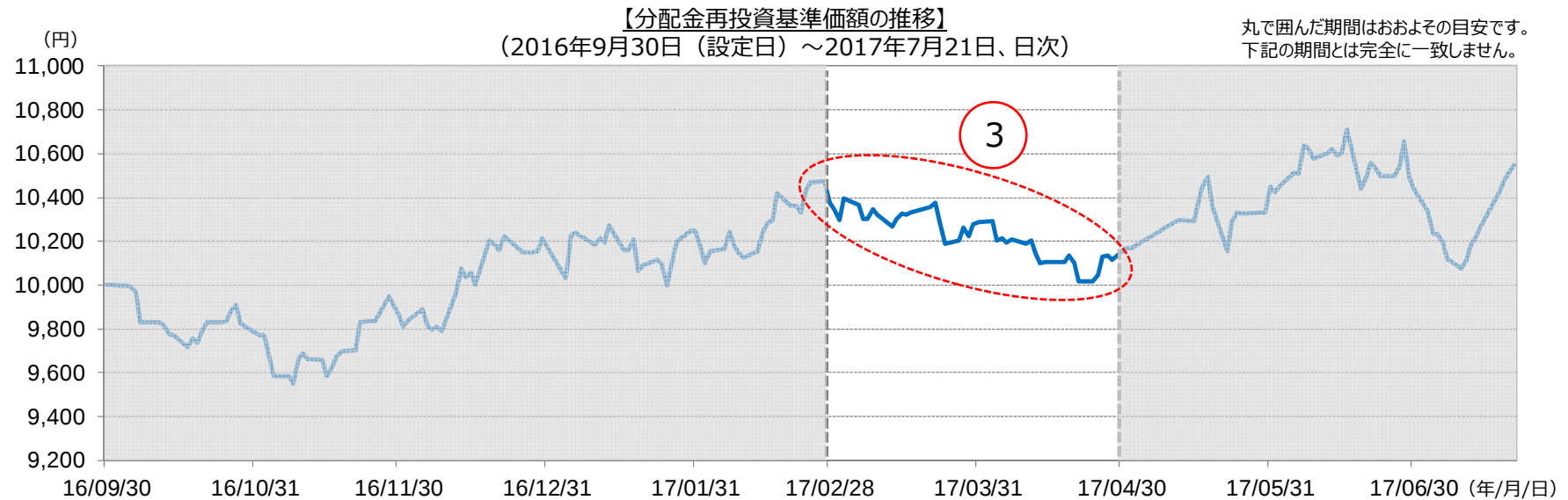
特に、株式の買建てや債券の売建てで収益を獲得したよ。

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

～設定来の運用状況について～

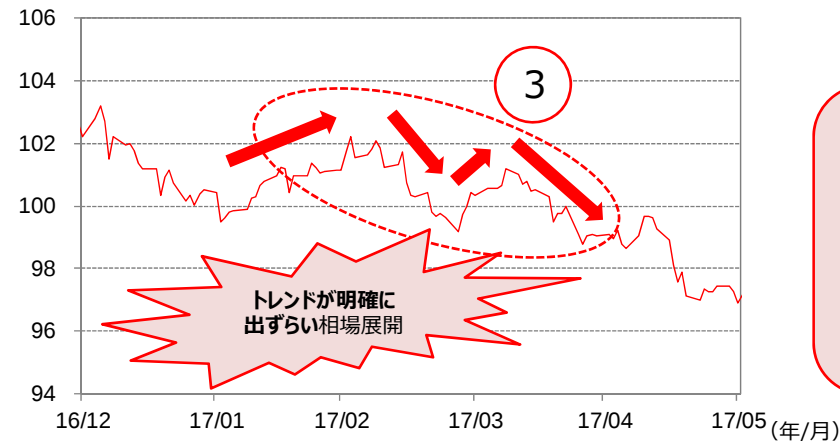
情報提供資料



方向感の出にくい展開

- ◆ 米国新政権の政策運営の不確実性やフランスの大統領選を巡る不透明感が強まりました。
- ◆ 一方、米国では好調な経済を背景に3月のFOMCで追加利上げが決定されました。政治の不透明感と利上げに左右され、方向感の出にくい相場展開となりました。

【ご参考：最も影響を受けた市場の1つとして掲載】
米ドルインデックス※の推移
(期間：2016年12月30日～2017年5月31日、日次)



※複数の主要通貨に対する米ドルの為替レートを指数化したもの
出所：ブルームバーグのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成



2017年2月～4月頃は、リスクオンとリスクオフを交互に繰り返すような市場動向が続いたよ。僕が苦手とする方向感のない相場展開だね。

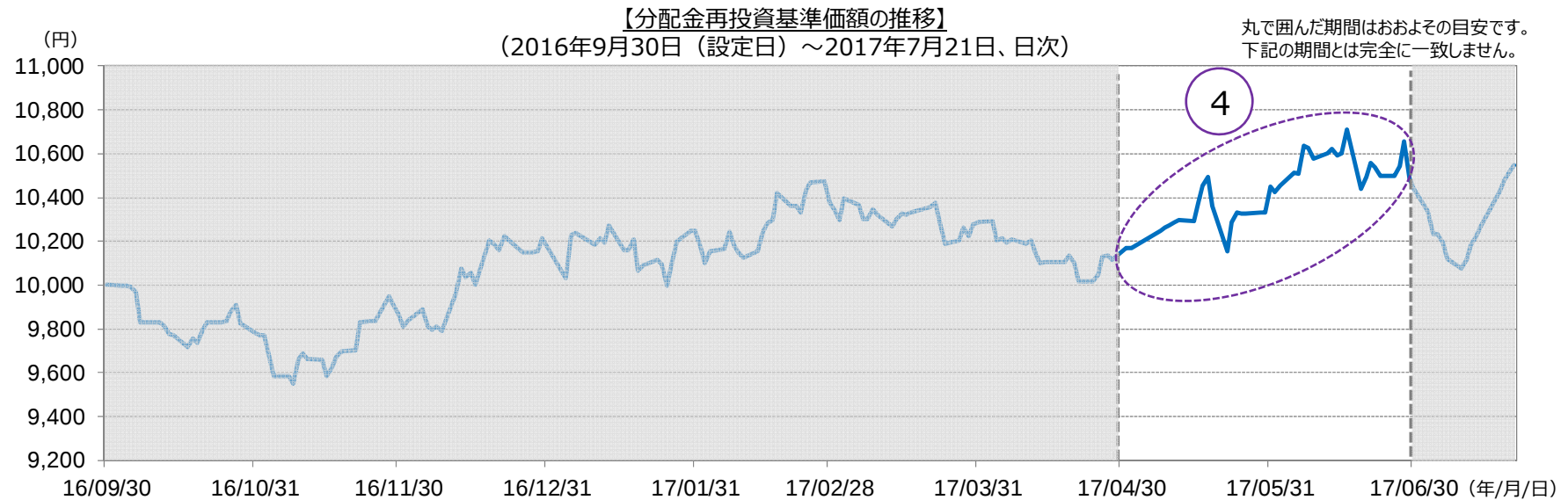
特に、通貨や債券・金利への投資でマイナスが出てしまったよ。

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

～設定来の運用状況について～

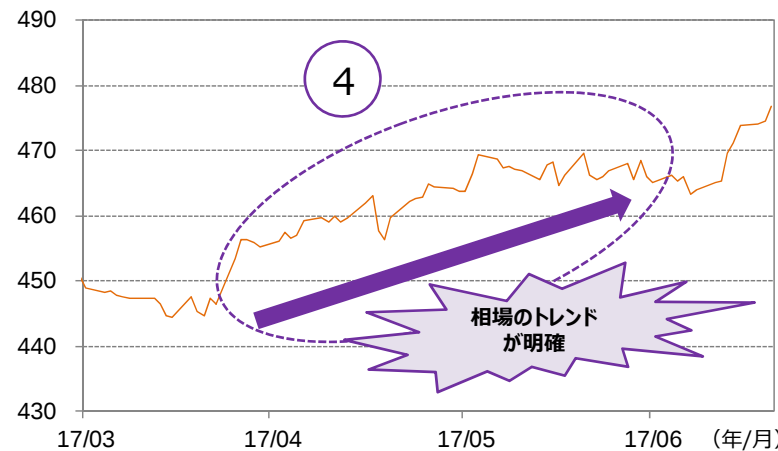
情報提供資料



市場に安心感高まる

- ◆ 米国で好調な企業決算が発表されたり、フランス大統領選挙でのマクロン氏の圧勝により、市場全体に安心感が広がりました。

【ご参考：最も影響を受けた市場の1つとして掲載】
世界株式（MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース））の推移
（期間：2017年3月31日～2017年7月19日、日次）



出所：ブルームバーグ、MSCIのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成



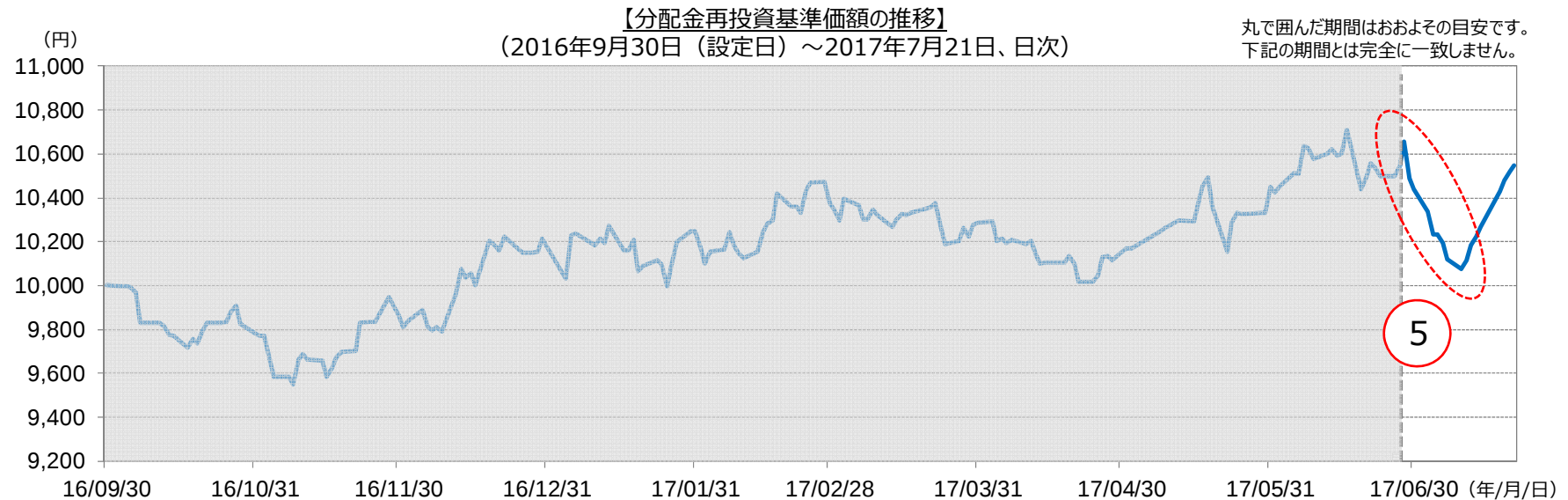
2017年4月末から6月上旬にかけては、株式で収益を上げることができた。世界の様々な国で株式の買建て比率を高めることにより、利益を獲得することができたよ。

ロボット戦略 世界分散ファンド（愛称：資産の番人）

追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型）

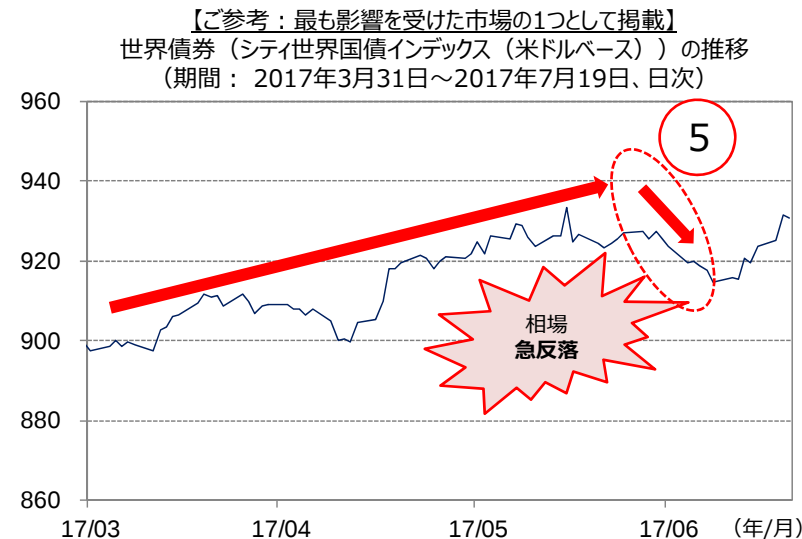
～設定来の運用状況について～

情報提供資料



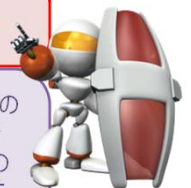
先進国長期金利の急上昇

- ◆ 2017年6月下旬に欧米主要国の中央銀行関係者からタカ派的な発言等が相次ぎ、欧米先進国や日本で金利が急上昇（債券価格は下落）しました。
- ◆ 米国でトランプ政権に対する不安感（政策の実効性やロシア疑惑等）から米ドルが弱含む中、世界経済の拡大の恩恵が期待出来る新興国の通貨が上昇しました。



2017年6月末～7月初めにかけて、特に欧州主要国の国債を買建てていたことがパフォーマンスのマイナス要因となっていました。

でも、そのマイナスも、その後の局面でほぼ取り戻すことができたよ。特に、新興国通貨の動きをうまく捉えることで収益が獲得できたよ。分散が効いている証拠だね！



出所：ブルームバーグ、シティグループ・インデックスLLCのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

お申込みメモ、ファンドの費用

情報提供資料

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
申込締切時間		原則として午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
信託期間		平成33年8月23日まで（平成28年9月30日設定）
決算日		2月、8月の各22日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配		年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。販売会社との契約によっては税引き後無手数料で再投資が可能です。
申込不可日		下記のいずれかに該当する日には、購入・換金の申込はできません。 ・ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日 ・ロンドン、ルクセンブルク、ニューヨークの各銀行または各証券取引所の休業日の前営業日 ・12月24日およびその前営業日 ・日本の祝日の前営業日および前々営業日

ファンドの費用

◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.24%（税抜3.0%） を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	ファンド	毎日、ファンドの純資産総額に 年0.9936%（税抜0.92%） の率を乗じて得た額とします。
	投資対象とする外国投資信託	<基本報酬> - 運用報酬 投資対象である外国投資信託において、外国投資信託の純資産総額に対して、年1.0%の運用報酬がかかります。 - 管理報酬 マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブの純資産総額に対して、上限年0.2%程度の管理報酬がかかります。 <成功報酬> 外国投資信託の純資産総額（基本報酬控除後、成功報酬計上前）がハイ・ウォーター・マーク※を上回った場合、その超過部分に対して15%の成功報酬がかかります。 ※ハイ・ウォーター・マークは外国投資信託の当初設定元本または直近の決算日（最終営業日）において外国投資信託に成功報酬が発生した場合の成功報酬控除後の純資産総額となり、成功報酬計算期間を通じて毎日計算されます。計算期間内に外国投資信託に追加投資があった場合には当該追加投資金額分に応じて上昇し、解約があった場合には当該解約金額分に応じて減少します。
	実質的な負担	年2.1936%（税抜2.12%）程度+成功報酬 ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料		- 信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。 - 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。 これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの投資リスク、ご留意事項等

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

価格変動リスク	金利変動リスク	信用リスク	為替変動リスク	流動性リスク	カントリーリスク
デリバティブのリスク	レバレッジリスク	システムリスク			

※基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

【分配金に関する留意点】

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はT & Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社にてご入手いただけます。

【当資料で使用するデータについて】

- MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。
- シティ世界国債インデックスは、シティグループ・インデックスLLCが開発した、世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

MEBUKI めぶき証券
めぶきフィナンシャルグループ

商号：めぶき証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1771号
加入協会：日本証券業協会

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

商号：T & Dアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第357号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会